

JIMTOF2022

電動化に対する先行きの不透明感に加えてサプライチェーン(供給網)の問題も追い打ちをかけ、他業界ほど設

村田機械

―出展の目玉は。

「門型5面加工機の新型『RB-4MⅢ』を展示する。送り速度の向上と製造現場の省スペース化に貢献する。ファナックのロボットと連携した加工ラインの自動化も提案する。強みの加工技術を押し出した展示のほ

新日本工機社長
中西 章氏



か、当社を含む池貝グループのブランド紹介の展示なども行う」

「好調を維持できて、世界的に大型機は緩慢な動き。欧米は上期まで順調だったが、ウクライナ情勢や物価の上昇など懸念材料が多

業の人材不足は日本業界のニーズに沿った開発を続ける」
製造業の脱炭素化の対応可能な加工機と炭素(CO₂)排出量削減に取り組んでいる。製造としては追い風。各業製品も省エネルギーに

大型機 自動化進める

「高騰への対策は。現在はサプライヤ

加工真円度90ナノ加工機

アビコ技術 研究所 小型金型向け、受注開始

【新潟】アビコ技術研究所(新潟県長岡市、高野泰夫社長)は、実測値で加工真円度90ナノ(ナノは10億分の1)の超微細加工機「AUM-10」を開発し、受注を始める。数値制御(NC)による最小指令単位は10ナノで、超硬合金も精密に研削する。光学系小型金型や半導体などの分野に訴求する。本体の消費税抜きの価格は約2000万円から。

3軸制御機は全軸リ転で、自社開発の「Hニアモーターで駆動するSKビルトインスピンドル」を搭載した。タ

ツ加工に
対応するほ
か、1台で

超硬合金も
精密に研削
可能な超微
細加工機
「AUM-10」

【相模原】日本コー二社長は、切削工具を開発した。物理気相成長(PVD)法による複層コーティング被

奈川県座間市、千葉祐技術「ゼニスコート」

ドリル寿命3割向上

PVD複層被膜を開発

日本コー二
リングセンター



「ゼニスコート」は耐摩耗性に優れ、切削工具寿命の延長に貢献する。工具向けチタ

マシニング加工と研削加工が可能。4軸制御機は精密静圧回転テーブルを設け、回転精度60ナノ(実測値)を実現した。

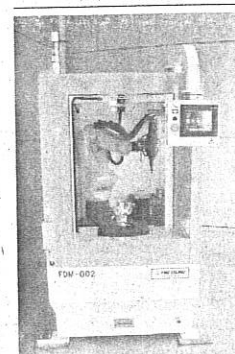


加工範囲は縦180ミ×横100ミ×高さ100ミ。X・Y軸スライダーの真直度が0.5ミ(マイクロ)加工機に比べ低価格に

小型のバリ取りロボ

ファイナテックノ 設置・移設容易に

【名古屋】ファイナテックノ(愛知県豊田)は、大羽達也社長は、ロボットとバリ取りツールなどを小型の筐体に収めた「小型バリ取りロボットセルFDM-002」を開発し、10日に発売する。従来機から約3割省スペース化したため設置や移



「ゼニスコート」は耐摩耗性に優れ、切削工具寿命の延長に貢献する。工具向けチタ